

## 第4回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議 議事要旨

開催日時 令和5年8月8日(火) 10時から

開催場所 阿倍野防災センター3階 研修室

出席者

(1) あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議メンバー(敬称略、五十音順)

池内淳子、左川睦子、城下英行、室崎益輝

(2) 消防局職員

予防部地域担当課長

予防課地域担当副課長

予防課地域担当係長

予防課地域担当

議題懇談

(1) 昨年度実施事業について

(2) その他

### ●事務局

お待たせしました。

ただいまより第4回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議を開催させていただきます。

各メンバーの皆様におかれましては、本日お忙しい中お集まりいただき、どうもありがとうございます。

私は、本日進行役を務めさせていただきます消防局予防課 地域防災担当係長の木野でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

はじめに消防局予防部地域担当課長の西大より、あいさつ申し上げます。

### ●事務局

本日は大変暑い中、当あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議に御出席いただきましてありがとうございます。

私は消防局予防部予防課 地域防災担当課長の西大でございます。

平素は、消防行政の各般にわたり、深い御理解と温かい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当アドバイザー会議につきましては今回で4回目ということで、アドバイザーの皆様から頂いておりました、御意見や御提案を検討し、改善した点や、新たに作成したものを来館者の皆様に喜んでいただけるよう活用させていただいております。

今後につきましてもあべのタスカルのより良い運営を行っていくため、さらに充実強化し、来館していただいた市民の方々に確実に防災について学んでいただけるよう、来館者の数ではなく、満足度向上を目指して努力していきたいと考えております。

当アドバイザー会議につきましては、今期指定管理期間内での開催を最後としまして、次年度につきましては次期の指定管理予定者選出委員会を設置しまして、タスカルの運営について検討してまいりたいと考えております。

大阪市消防局といたしましても、さらなる阿倍野タスカルの魅力向上を目指し、精一杯取り組んでまいり所存でございます。

最後になりましたが、本日は最後までどうぞよろしくお願いいたします。

#### ●事務局

それでは、ただいまより第4回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議の議題に入りたいと思います。

その前に、オブザーバーとしまして、指定管理者である一般財団法人大阪消防振興協会の職員と㈱ジェイ・アクセスの職員にも会議に御出席をいただいております。

会議の中で御質問等がございましたらよろしくお願いいたします。

では最初に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

【資料1】あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議資料

【資料2】令和4年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

【資料3】令和5年度 大阪市立阿倍野防災センター事業計画書

【別添】サマーイベント資料

AR動くぬりえ

公式アプリ紹介リーフレット

阿倍野防災センター施設紹介リーフレット

以上でございますが、不足しているものはございませんか？

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

議事の進行を座長よろしくお願いいたします。

#### ●座長

それでは、早速議題に沿ってすすめてまいります。

(1) 昨年度実施事業について、事務局より説明していただきます。

#### ●事務局

まず参考としまして、令和4年度の来館者数をまとめさせていただきましたので【資料1】の1ページをご覧ください。

令和4年度は来館者数76,711人、内防災学習体験エリアは51,943人となっております。

また、2ページにはリニューアルオープンした令和元年度の来館者数を昨年度と比較しており、コロナ禍の影響により大幅に来館者数が減少しておりましたものが、順調に回復していることがよくわかります。

それでは、前回のアドバイザー会議以降に実施しました事業等につきましてご説明させていただきます。

資料1の3ページをご覧ください。

- ・夏休みのサマーイベントについて
- ・タスカル専用アプリについて
- ・タスカルリーフレットのデジタル化について
- ・動画の作成について「最近の火災原因から火災を学ぼう」
- ・各メディアでの放送等の紹介について

この5項目について具体的にご説明させていただきます。

資料の4ページをご覧ください。

夏休み期間に合わせまして、「あべのタスカルサマーイベント」を先日の8月5日（土）、6日（日）の二日間実施いたしました。

昨年度ご協力いただいていた自衛隊様、海上保安庁様、大阪管区気象台様のほかに、今回新たに大阪市環境局様及び、阿倍野区の金塚地区の町会の皆様にも御協力を得まして実施することができました。

大阪市環境局様には、地球温暖化によって引き起こされる気候変動や生きものたちのつながりをAR（仮想現実）やVR（拡張現実）を使って身近に体験できるコーナーを設置していただきました。

また、金塚地区の町会の皆様には真夏の熱中症対策として1階エントランスにおいて、かき氷の販売を行っていただきました。各日300食用意しましたが、14時ごろには売り切れる盛況ぶりです。

地域の持つノウハウを共有していただきながら、今後もよいイベントを提供していきたいと考えております。

お手元の別添サマーイベント資料をご覧ください。

当イベントのコーナーの一つに、夏休みの自由研究のコーナーを開設いたしました。

お手元にあります各研究シートを用意し、来館されたお子様が自由に選択し、各団体様の内容に合わせたものを作成して、台紙に張り付けて完成させるという方法で、夏休みの宿題に活用していただきました。

今回初めての取り組みであったのですが、参加者の皆様からは熱心なご質問をいただき、好評を博しました。

5ページをご覧ください。

タスカルARについてご説明いたします。

当ARアプリにつきましては、スマートフォンにタスカル専用アプリをダウンロードしていただき、スマートフォンのカメラ機能を利用してARパネルをかざすと、仮想現実空間が起動し消防車両に乗って消火している様子を疑似体験していただけるものとなっています。

皆様もしよろしければダウンロードをお願いいたします。

なお、本会議の後半にアドバイザーの皆様には、実際にAR体験を行っていただこうと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

当アプリには、AR消防車コーナー、消防豆知識コーナー、防災〇×クイズコーナー、ARうごくぬりえコーナー、消防局のSNSのリンクや、プッシュ通知が送れる機能も搭載しており、消防局でのイベント等のお知らせについても随時発信していくことができるものとなっています。

また、AR消防車コーナーにつきましては、持ち運びが可能なものをさらにもう1セット用意してあり、防災

センター以外の場所においても体験していただくことができるものとなっており、AR を通じてあべのタスカルの広報にも役立っております。

8 ページをご覧ください。

既存の当館のリーフレットをデジタル化し、約1分の動画を2本作成しました。

様々なデジタルサイネージ等に掲載することができるものとなっております。

まずは、皆様に動画をご覧いただきたいと思います。

(動画放映)

1分間という動画になりますが、掲載を依頼するサイネージ等の都合に合わせて放映時間をトリミング調整し、短い動画に変更することも可能ですので、様々なニーズに合わせて掲載することができるものとなっております。

現在、消防局、各消防署、大阪市役所や区役所、市内の郵便局、あべの Q' s モールなどのデジタルサイネージにて放映を行っております。

今後も様々な掲載場所にて発信していく予定です。

9 ページをご覧ください。

続きまして、阿倍野防災センターのホームページ内のタスカルと学ぶコーナー内に「最近の火災原因から火災を学ぼう」という動画を作成し掲載を行いました。

大阪市消防局の火災調査鑑識の監修のもと作成したもので、火災原因調査から得た暮らしの中に潜む火災危険について、燃焼実験を交えつつプロの視点からお伝えする約20分間の動画になります

10 ページをご覧ください

昨年度から当館について、各種メディアにおいて放送されたものを皆様にご覧いただこうと思います。

(4本の動画放映)

このようなメディアに取りあげてくことができ、当館の広報につながったものと考えております。

また、最後に見ていただきました、サバイドルかほなん様につきましては、YouTubeでのチャンネル登録者数が47万人を超えており、人気上昇中のユーチューバーであることや、防災士の資格をお持ちであり、アウトドアと防災を掛け合わせた活動などを行っていることなどから、かほなん様に、今後、当館の広報動画等を作成する際にご出演いただく予定でございます。

以上で今会議までに実施いたしました対応状況についてでございますが、何かお気づきの点がございましたらご教示いただきたいと思っておりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

## ●座長

事務局より説明がありましたが、皆様の意見を申し上げます。

私から3点ほど。

メディアでも取り上げられていましたが、影響はいかがですか？

●事務局

放映直後は来場者が増えている、という印象です。

また、今回のサマーイベントはインスタグラムを活用したこともあり、昨年より来場者数が増えました。

やはり効果的な広報ツールを選択することが大切だと感じています。

●座長

インスタグラムなどは確かに若者に対しては効果的ですが、高齢者に対してはどのように広報をお考えですか？

●事務局

高齢者に向けてはまだまだ検討が必要と考えております。

●座長

ネパール地震の際、子供たちは外で遊んでいたのに、地震が来たため、机の下にもぐろうとして校舎に入り命を落とした。屋外で被災したら、とか、机が無ければどうするのか、など、様々なシチュエーションに応じた考察をさせることも必要ではないでしょうか。

●事務局

ご意見ありがとうございます。

●池内

感心したのが、他の団体との連携。どのような形ですのか気になっていましたが、いい形で実施できているように思う。

地域との連携について、地域のイベントをするときに清掃活動と防災活動については全員が当事者という意識があるので参加してくれます。あべのタスカルのような大きな施設が地域と連携しているということはいずれとても大きな力になると思う。

かき氷の販売のような小さなところから少しずつ連携していくことで、ゆくゆくは地域防災力の向上につながると思う。

若者に寄せた広報についてはとても頑張っていると思う。

20分の動画については長すぎるので、もう少し小分けにして、短い見やすい動画とすればなおよいと思う。

ユーチューバーが撮影に来てくれたのはラッキーだと思う。

ユーチューバーが自分のチャンネルで今回の内容を公開していないのは、公開するメリットがないと感じているのでは。コラボするときには、双方にメリットがある内容を検討してもよいのではないか。

●左川

この1年でARであったり、いろんなことをすごく充実されたなあという印象です。

ニュースやアプリなど、いろんなジャンルで頑張られている。

ホームページにアップしている20分の動画についてはやはり長いと思います。今回私もこの会議までに見ようと思いつつ、結局見る時間を作ることができませんでした。隙間時間でも見られるように、短い動画を作成された方が啓発としては有効かと考えます。

サイネージでの広報については、今は公共施設での放映が多いかと思いますが、民間のサイネージの活用はどのようにお考えですか？

●事務局

連携協定している民間企業のサイネージなどの広報施設を活用しながら効果的に広報を行っていきたいと考えています。

●左川

「こういう施設があるよ」という施設の存在に関するだけでなく、どんなことが体験できるのかという、施設の内容についても効果的に広報していけたらいいと思う。

地震の体験ができる施設ですが、インバウンドの方が無料の体験型施設として利用されている現状があるかと思いますが、それについてはいかがですか？

●事務局

インバウンドについては、コロナが落ち着いてきたこともあり、増えてきているのが現状です。

日本での職業訓練の一環の方もいらっしゃるが、確かに旅行者の方も一定数いらっしゃいます。

●左川

誰のための施設なのか、ということについては整理が必要ではないでしょうか。

次の質問ですが、コース設定に変更はありますか？

●事務局

コース変更は前回の見直し後は特にありません。

●城下

ARアプリについては、アップデートされていないというのが利用者にとって一番引かかる部分とおもわれるので、更新ペースが重要と思われる。アプリを開発すると、そこが一番大変だと思う。

来館者については、日本語学校に広報すれば、そこで学ぶ方々は来館してくれるのではないかと思う。

災害がほとんどない地域出身の方が日本で住み始めるような場合、とてもいい教育施設ではないかと思う。

この施設では、体験時にガイドさんがついてくれると思うが、リーフレットを見る限りそうとわからない。リーフレットにガイドさんの写真を載せるなど、工夫してみてもどうか。

自由に見られると思っていた人にも考えていたのと違ったと思われないようにするという観点からも、広報

が必要ではないかと思う。ちなみにイギリスの類似施設では、5人ぐらいのグループにボランティアのガイドが必ずつき、来館者に合わせた対応を行っている。タスカルにおいてもそのような対応が期待される。

#### ●座長

外国人住民の教育についてはとても大切。

外国人の留学生のみを集めて日本の研修をしたことがあるが、ものすごく熱心であった。

日本での災害に対応するための知識がない方が多い。

企業の外国人従業員研修についてはいいと思うが、旅行で来る人が無料体験できるアトラクションとして取り扱われるのは少し議論が必要ではないか。

#### ●事務局

日本人居住者について教育は必要なことはもちろんですが、仕事で来日された方などが日本滞在中に被災する可能性もあるので、教育は必要かと考えます。広報のターゲットや手法については検討が必要だと思います。

#### ●池内

阿倍野防災センターのウリは何でしょうか。

神戸市にある人と防災未来センターさんは有料ですがメモリアル、という色があるし。

#### ●室崎

人防さんはゲーム型体験を提供していた。堺でも楽しく学ぶゲーム体験を提供している。

ベースとなるコンセプトは各施設とも共通だが、それぞれ特色があるように思う。

阿倍野防災センターは教育的な位置でやっている。

#### ●池内

各防災センターでスタンプラリーなどをしてみてはどうか。

堺は本物の火が出てくるのがとてもいい。阿倍野防災センターは「映画がとてもいい」とおすすめすることもあるが、阿倍野防災センターの良さを一言で表すことができれば。

#### ●室崎

どの施設も、阿倍野防災センターがベースです。阿倍野防災センターを超えようと頑張っている。次のリニューアルには阿倍野防災センターがまた一歩先を行く内容となることを期待する。

#### ●城下

全国に防災学習施設は100ぐらいあって、内容的に似通ってしまうのは仕方がないかとも思う。

市としてどの部分を重点的に広報したいかが重要。

大阪は観光都市なので、大阪に来たついでに学んでもらう、というのも考え方のひとつ。

#### ●室崎

名古屋に古い防災センターがあり、年間来館者は6万人。市役所の隣にあり、ついでに来るかたも多い。阿倍野にはハルカスもあるので、阿倍野にきたら、タスカルにくる、という構図があればいいと思う。

●座長

次に進めさせていただきます。

新設したタスカル AR につきまして皆様に体験していただくということですので、事務局よろしく申し上げます。

●事務局

では、これより皆様にタスカル AR について体験を行っていただこうと思います。

当会議室につきましては、係員が常駐いたしますが、貴重品等はお持ちになっていただきまして、タスカルの総合訓練室まで移動をお願いいたします。

(AR 体験実施) 終了後会議室に移動

●座長

アドバイザーの先生方、何か言い残されたことはございませんか？

(先生方から発言なし)

特に無いようですので、「その他」として当会議の今後について、事務局から説明いただきます。

●事務局

当アドバイザー会議については、皆様のあたたかい御支援のもと、4回にわたり実施することができ、当館の運営並びに市民サービスの向上に大きく発展させていくことができたと思っております。

また、先日実施された「指定管理者制度における入札等監視委員会」におきまして、大阪消防振興協会の1社入札が続いていることが指摘され、当館のサービスに向上が認められないのではないかと指摘がございましたが、このアドバイザー会議におきまして外部有識者の皆様からの御意見等を頂戴し、改善等行っている旨を説明させていただいたところ、入札等監視委員会のほうからは、当アドバイザー会議について、大変すばらしい取り組みであるとの声を頂いております。

現指定管理期間での開催は今回で終了とさせていただきますが、令和6年度には次期の指定管理予定者の選定を踏まえました「指定管理予定者選定委員会」を開催する予定でございます。

また、先ではございますが、令和7年度には新たに当アドバイザー会議を設置し、当館の運営がより効果的・効率的に防災知識や技術を市民に普及させるため、外部有識者の皆様からさらなる魅力の向上を図る幅広い意見を頂戴していきたいと考えております。

事務局からは、以上です。

●座長



以上で本日の議題は、すべて審議していただきました。  
本日は、いろいろと意見をいただきありがとうございました。  
それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。

●事務局

皆様には当館の運営、リニューアルなど、長年にわたり熱心なご議論、御意見をいただき誠にありがとうございました。

今後もアドバイザーの皆様からいただいたご意見をもとに、指定管理者とも協議調整のうえ、あべのタスカルの運営をより良いものにしていきたいと思えます。

これを持ちまして、あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議を閉会させていただきます。

今後ともどうぞ「あべのタスカル」に暖かい目で見守ってくださいますようお願いしたいと思います。  
おります。

皆様本日は、どうもありがとうございました。